

事業所名

放課後等デイサービス ふれあいきつ読谷

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和 7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもの安心と安全の居場所作り					
支援方針		①子どもの主体性と安心感を守るため、インリアルアプローチの大人の基本姿勢SOULを心構えに援助を行います。 ②親と共に子どもの成長を支え、子育てに向き合う保護者様の充実感や安らぎとなる拠り所になります。 ③専門職としての知識と技能の維持・向上に努め、高い専門性を提供します。					
営業時間		平日 10 時 土祝長期 9 時	00 分から 00	19 時 18	00 分まで 00	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	健康な生活習慣の促進、日常生活の基本動作や自立の促し ・心身の健康状態の把握（検温や気分の把握） ・生活リズムの安定（定期的・定時に通所／登所・退所時の準備や整理整頓／活動切り替え） ・学習活動の妨げとなる課題や要因を探る ・身辺自立の向上（排泄／身だしなみ） 人間力や社会人として求められる力の基盤を作る ・SSTや実践課題を通し、考える力や職業準備性（どの分野でも共通して必要とされる基本的な社会人としての資質）を育てる。					
	運動・感覚	日課プログラム（SAQ） しっとり汗をかくような活動でドーパミン（興奮の神経物質）を分泌させ脳を活性化。手足の協応動作を含んだ課題を取り入れ、日課メニューの習得率を上げる。 ・スピード（Speed） 前方への重心移動の速さ ・アジリティ（Agility） 運動時に身体をコントロールする能力 ・クイックネス（Quickness） 刺激に反応し素早く動き出す能力					
	認知・行動	日課プログラム（直写・視知覚・視写） ・直写 絵や文字を静かにゆっくり書くことでセロトニン（抑制の神経物質）を分泌させ、抑制をかけながら行う。目と手の協応動作の向上。 ・視知覚 眼球運動（追従性眼球運動／衝動性眼球運動）、視知覚認知機能のトレーニング。目と手の協応動作。手先の微細運動。視覚的ワーキングメモリの向上。 ・視写 制限時間内にできるだけたくさんの文字を写す。板書を写すトレーニングにも効果的。視点移動の能力向上。視覚的ワーキングメモリの向上。速く書く処理スピードの向上。					
	言語 コミュニケーション	日課プログラム（フラッシュカード・音読・聞き取り） ・フラッシュカード 自分の声を集団や先生に合わせる。非言語コミュニケーション能力を育てる。耳と口の協応動作。視覚・聴覚的ワーキングメモリの向上。処理スピードの向上。 ・音読 さまざまな読み方指導で聴覚的ワーキングメモリの向上。文章を目で追うなどの追従性眼球運動。人と合わせるなどの非言語コミュニケーション能力の向上。文章表現力。 ・聞き取り 聞く力を育てる。耳と手の協応動作。聴覚的ワーキングメモリの向上。処理スピードの向上。					
	人間関係・社会性	日課プログラム（かるた） ・かるた 負けることを受け入れる。感情コントロール。目耳手の協応動作。 休み時間 ・こども社会の交流の中で、他者との関係、ルールやマナーなど社会生活上の適応力を育てる。 ・多様性の理解を広げ、ノーマライゼーションの精神や行動力を一緒に考える。					
家族支援		子育ての悩みや日常の成長に関する情報交換を行い、専門的な視点から情報提供を行います。また、各関係機関との橋渡しや代弁などの役目を担うなど。			移行支援		ライフステージでの切り替えを見据え、本人を取り巻く環境資源の情報収集を行い本人やご家族へ情報提供。本人の成長に合わせ、自立に対する心構えや段取りを一緒に進めます。
地域支援・地域連携		地域の公園や児童館の施設利用やイベント参加などを積極的にに行い利用し、地域のこども達と接する機会を持つ。地域の事業所を始め、福祉や教育、医療機関との情報交換の場に積極的に参加。			職員の質の向上		公的な外部研修、個々のスキルアップ研修、社内勉強会、施設見学。
主な行事等		各季節に沿った行事、遠足や運動、社会見学や体験学習、防災・防犯訓練、救命講習などを毎月の活動へ組み込みます。					